

## 日本神経学会学術大会の構成について

会場 東京国際フォーラム

口演会場 10会場を想定 ホールAはplenary lectureに使用:半日の使用を想定  
ガラス棟G510を加えて, 10会場

ポスター会場 B2展示ホールを用いる  
企業展示 B2展示ホールを用いる

日程	第0日	生涯教育セミナー 1セッション 卒後教育セミナー 1セッション ハンズオン 7セッション 全員懇親会 ホールB5を想定 理事会 午後イチ, ガラス棟で開催 社員総会 理事会に引き続いて, 500人程度が入ることができる会場(ホールB7を想定)で開催 各種委員会 午前中, ガラス棟で開催, 5部屋程度必要?
	第1日	午後にホールAをplenary lecture用に使用 口演は, 基本的に9会場をフルに使用 ポスター討論の時間帯は, 口演はとめる
	第2日	午後にホールAをplenary lecture用に使用 口演は, 基本的に9会場をフルに使用 ポスター討論の時間帯は, 口演はとめる コンGRESディナーを開催
	第3日	午後にホールAをplenary lecture用に使用 口演は, 基本的に9会場をフルに使用 ポスター討論の時間帯は, 口演はとめる
	第4日	市民公開講座 会場は, ホールCを想定

※ ホールAの使用は、第1日から第3日まで毎日使用としていますが、  
①1日使用の場合、②2日使用の場合、③3日使用の場合、それぞれ  
についてご提示ください

## 日本神経学会学術大会の基本パターン

		1日目	2日目	3日目	合 計
会長講演	セッション数	1			1
	演題数	1			1
受賞講演	セッション数	1			1
	演題数	2			2
plenary lecture	セッション数	1			1
	演題数	3			3
Education Program	セッション数	9			9
	演題数				
ホットトピックス	セッション数	3	3	2	8
	演題数				
シンポジウム	セッション数		6	17	23
	演題数				
East Asian Neurology Forum	セッション数		1		1
	演題数				
一般演題口演	セッション数	16	15	8	39
	演題数				
ポスター	セッション数	45	41	41	127
	演題数				
合 計	セッション数	76	66	68	210
	演題数				
ランチョンセミナー	セッション数	9	9	9	27
イブニングセミナー	セッション数	9	9		18

神経学会賞1, 榎林賞1を想定

第51回は初日のみ, 早朝に6人の教育講演

最終日: 午前中にポスターセッション, 午後シンポジウムとすると, 2本程度しか組めない?

第51回では, 一般演題とconcurrentに開催. シンポジウム枠で開催するかどうか, 要検討

一般演題(口演+ポスター)で, 1300-1400を想定

第51回と同数

第51回は, 16だったが, 会場数からいえば, 9本/日が可能